

平成24年第11回笠間市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成24年11月26日(月) 午後2時00分開議
2. 招集場所 笠間市教育委員会庁舎 会議室
3. 出席者 教育委員 5名
事務局 13名
4. 傍聴人 なし
5. 提出された議題(議事) 別紙のとおり
6. 会議の概要
 - (1) 委員長 午後2時00分開会を宣す。
 - (2) 教育長 別紙により教育長事務報告をする。
委員長 事務報告についての質疑を問う。
委員長 質疑なし。
 - (3) 委員長 報告第10号 専決処分の承認を求めることについてを上程し、事務局の説明を求める。
事務局 原案に基づいて説明をする。
委員長 質疑を問う。
委員長 異議なしの声により全員に再確認し、原案どおり承認する。
委員長 議案第31号 笠間市総合公園管理運営規則の一部を改正する規則についてを上程し、事務局の説明を求める。
事務局 原案に基づいて説明をする。
委員長 質疑を問う。
委員 夜間の利用者が増えているということですか。
事務局 夜も利用できるようにして欲しいという要望があり、また近隣の施設で午後9時、10時まで開いているところもあるので、総合公園も延長することになりました。
委員長 異議なしの声により全員に再確認し、原案どおり可決する。
委員長 議案第32号 平成24年度笠間市教育委員会外部評価報告書についてを上程し、事務局の説明を求める。
事務局 原案に基づいて説明をする。
委員長 質疑を問う。
委員 県下中学校交歓笠間市駅伝大会事業の意見の項目に笠間市のメインストリートを走るとありますが、そういう可能性はあるのですか。
教育長 かさま陶芸の里マラソンでは稲荷神社前のメインストリートを走りま

すが、中学駅伝は中継地点等の関係で通りにくいのです。中学生は練習のため事前に走るのですが、練習でメインストリートを通るのは難しいですね。

委員 学力向上支援事業についてですが、予算が少なすぎますよね。もう少し予算を取ることは出来ないのですか。

事務局 この事業についてはご指摘の通りで、平成25年度は今年度より1桁多い予算を要望しております。

教育委員会としては、学力向上支援事業は教職員の数も関係すると考えておりますので、TT(ティーム・ティーチング)や少人数教育などを充実させ、各校1~2名配置しようとしています。非常勤講師でも1人あたり年間200~300万円かかり、全21校に配置するとすると4,000万円ほどかかりますので、今年度予算300万円から来年度の予算要求額を4,000万円近くにしております。この事業は平成25年度重点事業にしており、笠間市総合計画においても重点事業としております。予算が取れば、推進するということとなります。

委員 教育はお金がかかるので、何としても増やしてほしいと思います。

外部評価委員からは、こうした指摘は無かったのですか。

事務局 TT事業は、今までも継続事業として、県からの派遣教員7名のほか市の持ち出し1,500万円を実施しておりました。その他にも理科支援員等の事業を実施しております。外部評価委員会では前年度の学力向上支援事業に対しての評価をいただいたということで、他のTT等の事業を実施していないわけではございません。

委員 スクールライフサポーターの実施校は岩間地区の小学校2校となっていますが、3校ではなく2校なのはなぜですか。

事務局 岩間地区は全児童が岩間中1校に進学するため、岩間地区で実施しています。また、この委託事業自体が小学校2校と中学校1校を対象にしていますので、小学校2校での実施になっております。

委員 対象でない1校では何かしているのですか。

事務局 これは継続事業であり、小学校3校のうち1校が1年抜けることがあるわけですが、対象校で不登校児が特別多いということではありません。あくまでも研究事業です。

委員 比較的の不登校児が多い学校を選びながら実施しているということですか。

事務局 基本的にはそうです。岩間地区は少なくはないです。

委員長 かさま陶芸の里マラソン大会事業について、事業費380万円、人件費807万円となっていますが、この人件費は具体的にどのようなものですか。

事務局 この事業にかかる職員の人件費を、1人1年で750万円として算出しています。例えば1年で0.5人かかれば375万円という形で積

み上げ、臨時職員を雇用している場合にはその賃金も加算し、この金額になります。

委員長
事務局

人件費が全て外部の方のために遣われるということではないのですね。そうです。内部の職員については、実際には代休等で処理しております。

この算定方法は、行政経営課で行っている方法です。評価の作り方として、事業費はいくらかかる、人件費はその担当がこの事業を実施する上で何人必要かという算出をしておりますので、ここに出ている人件費は実際の人件費を積み上げた金額ではありません。担当者がどのくらい力を入れているのかという考え方です。

委員

親子映画鑑賞会事業の人件費9万5千円も同じ考え方で出された額ですね。

事務局

そうです。この事業を実施するのに何人必要で、その事業がどのくらいのウエイトを占めているのかという意味です。

委員

その上で、コスト高という話になったのですね。

事務局

この算出方法についても、外部評価委員に説明をしています。

委員

親子映画鑑賞会の参加者は何名ですか。

事務局

平成23年度は100名ほどです。

委員

親子合わせて100名ですか。

事務局

そうです。

委員長

異議なしの声により全員に再確認し、原案どおり可決する。

委員長

議案第33号 平成24年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについてを上程し、事務局の説明を求める。

事務局

原案に基づいて説明をする。

委員長

質疑を問う。

委員長

以前の指定管理者の期限が5年ということですが、これはあらかじめ決まっていたのですか。

教育長

そうです。継続も可能ですが、今回は別の管理者になったということです。

委員長

施設の管理一切を指定管理者に任せるのですか。

事務局

そうです。使用料金がかかる施設で指定管理者制度を採用しています。南山スポーツ公園など、スポーツ振興課で管理している施設も一部あります。

委員

岩間のスカイロッジも指定管理ですよ。

事務局

スカイロッジは商工観光課が取り扱い、観光協会を指定管理者にしています。

委員長

指定管理者が一切責任を取るシステムになっているのですか。

事務局

市の施設を委託しているわけですから、最終責任は教育委員会にあります。

委員長

岩間海洋センターにも教育委員会出身の方がいますよね。

事務局	現在はいません。指定管理になっているところには市の職員は全くいません。
委員長	子どもにヘルメットをかぶらせずに間伐の体験をさせていたところ、枝が当たり亡くなってしまった事故が報道されていました。そうした事故等にも気をつけなければなりません。
委員	教育費、小学校の項目に学校管理費とあります。 ある私立高校でグラウンドからネットを越えて16m下に落下する事故が起きましたが、そうした危険箇所については対策しているのですか。屋上のパネルもそうですし、去年岩間一小を訪問した際、1階と2階の踊り場のようなところで、2階から1階を覗くと落ちるかもしれない箇所がありました。塞いだほうがいいと思うのですが。
事務局	高校生が落下したところにあったのはゴミ落下防止用のネットで、人が落ちないようにするためのフェンスが別にあり、それを乗り越えて落ちてしまったようです。以前、天井の明かり取りが抜けた事例がありました。市内では大原小に明かり取りがありますが、乗っても安全なものであり、また立ち入り禁止の措置も取っています。 学校管理の中で定期的に見回り、事故を想定し危険性を感じたものについては、教育委員会の施設整備担当に報告していただければ予算を計上して対応します。 岩間一小の該当箇所については、フェンスをかけ、鏡も設置しました。3階はまだ抜けているので、これから対応します。
委員長	友部公民館整備事業債について、22年度の1,410万円から23年度は3,000万円と飛び抜けて大きな補正になっていますが、なぜですか。
事務局	災害補助が見込みより減ったため、起債を増やしたということです。事業費自体は変わっていないのですが、こういう場合は一般会計の持ち出しを増やすか地方債を多くするかになります。あまり市の方から持ち出したくないので、今回は地方債を増やす形になりました。
委員長	異議なしの声により全員に再確認し、原案どおり可決する。

(4) その他 なし

(5) 委員長 午後3時17分閉会を宣す。

7. 議決事項

報告第10号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第31号	笠間市総合公園管理運営規則の一部を改正する規則について	可決
議案第32号	平成24年度笠間市教育委員会外部評価報告書について	可決
議案第33号	平成24年第4回笠間市議会定例会提出議案に同意することについて	可決